

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

| | |
|---------|--------------------|
| 上位の施策名称 | 施策Ⅱ-2-2 地域福祉の推進 |
|---------|--------------------|

1. 事務事業の目的・概要

| | | | |
|----------|--------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 地域福祉課長 半場 祐子 | 電話番号 | 0852-22-5349 |
|----------|--------------|------|--------------|

| | | | |
|---------|---|--|--|
| 事務事業の名称 | 地域福祉セーフティネット推進事業 | | |
| 目的 | (1) 対象 | 具体的な支援を必要とする地域住民（県民） | |
| | (2) 意図 | 個別の支援を必要とする人が、その状況に応じた福祉サービスを受けることができる仕組みをつくり、安心して生活ができるようにする。 | |
| 事業概要 | ○コミュニティソーシャルワーカーによる地域福祉活動を推進するため、島根県社会福祉協議会へコミュニティソーシャルワーカーの研修にかかる経費を補助する。 ○地域におけるボランティアを養成するため、島根県社会福祉協議会に対し、県ボランティア活動振興センター及び市町村ボランティアセンターの運営経費を補助する。 ○地域における福祉教育を推進するため、島根県社会福祉協議会に対し、「しまね流福祉の学び合い推進セミナー」の開催経費を補助する。 | | |

2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 | | 年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 単位 | |
|----------|------|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 1 | 指標名 | コミュニティソーシャルワーカーの養成数 | 目標値 | | 370.0 | 402.0 | 434.0 | 466.0 | 人 |
| | 式・定義 | コミュニティソーシャルワーカーの養成数 | 取組目標値 | | | | | | |
| | | | 実績値 | 338.0 | 376.0 | | | | |
| 2 | 指標名 | | 目標値 | | | | | | |
| | 式・定義 | | 取組目標値 | | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | | |
| | | | 達成率 | - | 101.7 | - | - | - | % |

3. 事業費

| | 前年度実績 | 今年度計画 |
|--------------|--------|--------|
| 事業費 (b) (千円) | 10,756 | 10,756 |
| うち一般財源 (千円) | 5,462 | 5,462 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○コミュニティソーシャルワーク実践力強化研修会に5名の参加があった。
 ○県民活動応援サイト「島根いきいき広場」への情報の登録やサイトの閲覧が停滞している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

コミュニティソーシャルワーカーがそれぞれの地域において個人が抱える生活課題を把握し、福祉サービスに結び付けるなど必要な支援や活動を行っている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 支援を必要とする人の福祉課題が複雑・多様化している。
 - 県民活動応援サイト「島根いきいき広場」への情報の登録が少ない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 厳しい経済状況や生活不安などによる生活困窮や引きこもり等新たな課題が生じてきている。
 - 県民活動応援サイト「島根いきいき広場」の利便性が十分に周知できていない。
- ③原因を解消するための「課題」
- コミュニティソーシャルワーカーの専門性や質を継続的に向上させていかなければならない。
 - 県民活動応援サイト「島根いきいき広場」へイベント情報やボランティア活動情報など、サイトの内容を充実させなければならない。
 - 県民活動応援サイト「島根いきいき広場」の更なる周知を行わなければならない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○コミュニティソーシャルワーカーの養成や実践力向上のため、島根県社会福祉協議会と協議し、必要な研修等を継続して実施していく。
 ○関係課と連携し、県民活動応援サイト「島根いきいき広場」への登録を増やすための取組み、更なる周知への取り組みを検討する。